



2018年12月25日

「全銀E D Iシステム」と連携した法人向けE Bサービスの機能追加について

千葉銀行（頭取 佐久間 英利）は、2018年12月25日（火）より、一般社団法人全国銀行資金決済ネットワーク（全銀ネット）が構築した「全銀E D Iシステム」（以下「Z E D I」）と連携し、法人向けE Bサービス^{※1}の機能追加を行いました。

Z E D Iでは、企業や個人事業主が利用する総合振込のデータをXML形式^{※2}のファイルで作成することにより、支払企業が請求書番号などの大量のE D I情報^{※3}を添付して受取企業に送ることが可能となります。受取企業は、E D I情報付の振込入金明細データを売掛金の自動消込などにご活用いただけます。

当行の法人向けE Bサービスにおいても、Z E D Iに接続し、振込電文にXML形式を追加することで、総合振込を行うお客さまの利便性向上につなげてまいります。

その他、Z E D Iの詳細につきましては、全国銀行協会のホームページをご参照ください。

URL <https://www.zenginkyo.or.jp/article/tag-j/9690/>

- ※1 「法人向けインターネットバンキング＜W e b - E B＞」および「ちばぎんパソコンバンクサービス」
- ※2 メッセージの長さなどを柔軟に設計・変更することが可能な電文形式。
- ※3 支払企業から受取企業に伝達するメッセージのこと。支払企業側が設定する。

以 上